

【RX-7V】
(1988年)



【SIGNET RR】
(2000年)



【ASTRAL-X】 (2016年)

シールドシステムが理想のフォルムを実現させた。長い歴史を通じて、現実の事故に学びながら材料、構造、フォルム、かわす性能の安全性を高めている。新世代のシールドシステムによる安全性能の向上という新しいカタチの進化が生まれた。アライは今までもそしてこれからも新しい安全のカタチを創り出していく。

【RX-7】 (1968年)



1952年より日本初の乗車用ヘルメットが開発・製造・販売され、1968年にフルフェイス型のヘルメットRX-7誕生。1978年には、cLc構造(複合基材積層構造)による帽体成形方法が確立され安全性を追求する帽体強度の高い新しいヘルメットのカタチが生まれた。

バイクに乗るときの頭を護るカタチを
最初につくったアライだから
その安全性も本物にしている。



一貫した安全性能への追求。

The consistent pursuit of gains in protection

Racing Specialities